

---

---

## 山梨北中ブロック交流研究会

---

---

テーマ

小中の連携を深めることにより、山梨北中ブロックの児童生徒の指導に生かす

### I 主題設定の理由

山梨北中学区の児童・生徒を健全に育てるためには、普段交流する機会の少ない小・中の教職員が共有の活動や話し合いを持ち、教育上の課題を見つけ、より良い解決の方法を探り、連携を深めることが必要だと考える。

本ブロックでは、昨年度から、同じ地域で学ぶ子どもたちに共に教育するという立場から、教師自身が地域に対して共通理解を深めることが必要だと考え、本ブロックに共通する教育課題に対し、講師を招いて学習会を企画した。

また、小・中の授業参観やその後の研究会を持つことで、児童生徒への理解が深まり、小・中が連携して指導にあたることができると考え、本テーマを設定した。

### II 研究の具体的内容

#### 1 第1回交流研究会（講演会）

- (1) 日時 平成25年8月2日（金）
- (2) 目的 小中の共通する教育課題について専門的な立場から講師を招いて学習会を開き理解を深める。
- (3) 内容 学習会（講演会）  
演題「特別な支援を必要な子どもたちへ学級でできる支援を考える」  
講師 山梨県スクールカウンセラー 中村 真理子先生

※小・中学校ともに学級内において特別な支援を必要とする児童・生徒に対し、支援の背景にある症状やそれに対して学級内でどのような支援の方法が考えられるか。また、学校や他の組織とどのような連携を図ればよいのかを具体的な例を示して話していただいた。

#### 2 第2回交流研究会

- (1) 日時 平成25年11月13日（水） 午後3：10～授業参観  
午後4：10～学年別研究会
- (2) 目的 中学校の授業を算会し、情報交換及び懇談を通して、小中の連携を強化し、今後の教育活動に生かしていく。
- (3) 内容 山梨北中学校の授業を参観し、情報交換や意見交換を行う。

#### 3 第3回交流研究会

- (1) 日時 平成26年1月22日（水） 午後2：00～ 授業参観  
午後3：10～ 研究会

- (2) 目的 小学校の授業を参観し、情報交換及懇談を通して小中の連携を強化して今後の教育活動に生かしていく。
- (3) 内容 日下部小学校・八幡小学校の授業を参観し、情報交換や意見交換を行う。

### Ⅲ 成果と課題

#### 1 成果

##### (1) 学習会（講演会）

- ・今は、小中を問わずどこの学級にも支援を必要とする生徒・児童がいる。その子に対して担任として必要な支援の在り方を教えていただき2学期からの指導に役立たせたいと思った。
- ・具体的な症例や症状の在り方を解説していただいたので、自分の学級と当てはめて考えることができた。
- ・講演会形式にして2年目であったが、研究テーマに即した講師のお話を聞くことができて良かった。

##### (2) 小中学校の交流授業

- ・小中の学校の授業を参観することは、お互いの指導に有効である。大変勉強になった。
- ・授業を参観することにより、中学校での学習の様子がわかり自分たちの目指す方向性を確認することができて良かった。
- ・授業を参観することで小学校の段階でどこまで指導しているかを知ることができ、それを中学校でどのようにつなげ発展させていけばよいのかわかった。
- ・小学校の先生方との話し合いで、中1の子どもたちへの理解がさらに深まった。

#### 2 課題

##### (1) 学習会（講演会）

- ・講演会方式にして2年目であったが、異動等もあるのでどこかで臨地研修の場も必要になってくるだろう。
- ・今日的な教育課題にあったテーマを探していくことも大切なのではないか。

##### (2) 小中学校の交流授業

- ・小学校で身につけたことを中学校でどのように生かしていくのか。
- ・授業参観後の意見交流会では、時間がない中で深まった討論ができなかった。
- ・小中共通するテーマを設定して授業を見せ合えば良いのではないか。

(ブロック長 岡村 太郎)